

Europe Indicators

発表日: 2023年1月25日(水)

欧州経済指標コメント: 1月英国PMI速報

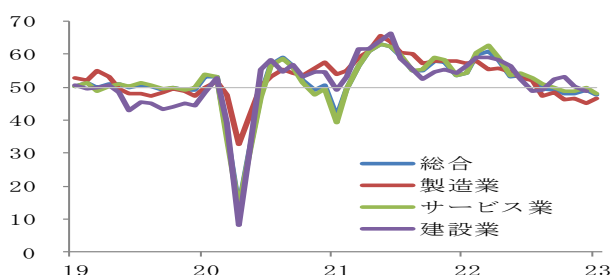
～ヘッドラインほど悪くはない～

第一生命経済研究所 経済調査部

首席エコノミスト 田中 理 (TEL: 03-5221-4527)

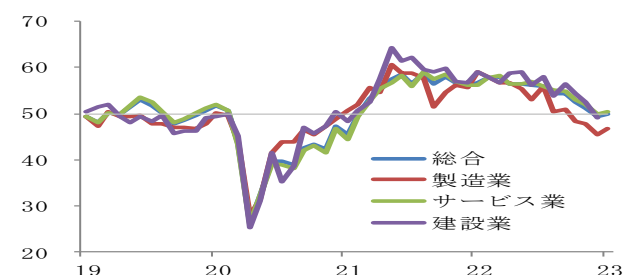
- 24日に発表された1月の英国の総合PMIの速報値は47.8と前月(49.0)に比べて悪化モメンタムが加速し、2021年1月以来の水準に低下。6ヶ月連続で好不況の分岐点である50を下回った。総合PMIを構成する2項目の内訳は、製造業の産出指数(製造業PMIの構成項目の1つ)が44.4→46.6と前月から悪化モメンタムが鈍化した一方、サービス業活動指数(PMI)が49.9→48.0と前月から悪化モメンタムが加速し、ヘッドライン計数を押し下げた。
- 製造業PMIは45.3→46.7と悪化モメンタムが鈍化。指数を構成する5項目の内訳は、既述の産出(44.4→46.6)、新規受注(41.4→43.8)、雇用(45.5→46.7)の悪化モメンタムが揃って鈍化し、ヘッドライン計数を押し上げた。他方、中間財在庫(47.0→46.7)、入荷遅延の逆数(53.2→52.4)が下押しした。
- 製造業とサービス業の雇用判断(49.3→49.8)は悪化モメンタムが鈍化し、50復帰が視野に入る。内訳は製造業(45.5→46.7)とサービス業(50.0→50.4)が揃って前月から改善。また、製造業とサービス業の投入物価(72.1→70.2)、産出物価(62.3→61.8)が揃って前月から上昇モメンタムが鈍化した。内訳は製造業の産出物価が再加速した一方、製造業の投入物価、サービス業の投入・産出物価の上昇が鈍化した。製造業の産出物価が投入物価を上回るのは、2020年5月以来。
- 同日に発表されたユーロ圏のPMIとは異なり、英国のPMIはサービス業を中心に前月から一段と悪化した。ストライキの影響や物価の高止まりがサービス業活動(49.9→48.0)の下押しにつながった一方、サービス業活動見通し(61.9→65.8)は改善モメンタムが加速し、先行きの業況好転が示唆される。ヘッドラインが示唆するほど、英国景気が悪化している訳ではない。

■英国: PMI 総合



出所: S&P Global

■英国: PMI 雇用



出所: S&P Global

■英国のPMI指数(季節調整済み)

	2022				2023									
	1Q	2Q	3Q	4Q	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
英国 総合PMI	58.3	55.0	50.3	48.5	58.2	53.1	53.7	52.1	49.6	49.1	48.2	48.2	49.0	47.8
製造業PMI指数	56.8	54.4	49.3	46.0	55.8	54.6	52.8	52.1	47.3	48.4	46.2	46.5	45.3	46.7
サービス業PMI指数	59.1	55.6	51.2	49.2	58.9	53.4	54.3	52.6	50.9	50.0	48.8	48.8	49.9	48.0
建設業PMI	58.2	55.7	50.1	50.8	58.2	56.4	52.6	48.9	49.2	52.3	53.2	50.4	48.8	-

出所: S&P Global

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

